

グラントウキョウノースタワー

建物諸元(2021年12月現在)

所在	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
主用途	事務所、商業施設(物販・飲食)、駐車場
敷地面積	14,439 m ²
延床面積	208,010 m ²
階数	地上43階、地下4階、塔屋2階
竣工年月	2007年10月
事業者・所有者	東日本旅客鉄道(株) 三井不動産(株)
設計会社	東京駅八重洲開発設計共同企業体 構成員: ㈱日建設計 ジェイアール東日本建築設計事務所
施工会社	東京駅八重洲口開発計画北ビルI期新築工事共同企業体 鹿島建設(株)、清水建設(株)、㈱大林組、㈱竹中工務店、 大成建設(株)、鉄建建設(株)、三井住友建設(株)
管理会社	㈱JR東日本クロスステーション、RB工装(株) 三井不動産ビルマネジメント(株)、三井不動産ファンリティーズ(株)
URL	http://www.grantokyo-nt.com/
テナント数	12社(特定テナント5社)

主な評価項目

I 一般管理事項

- ・テナントとの協働体制の構築および情報共有の強化
- ・CO₂削減推進全体会議を中心としたCO₂削減対策の立案、実行、検証、改善体制の構築
- ・BEMS(エネルギー管理システム)を活用したエネルギー分析および運用改善

II 建物、設備性能に関する事項

- ・エアフローウィンドウ、ブラインドスラットの自動制御システム、氷蓄熱による高効率熱源の導入、ポンプ・ファンのインバーター制御、昼光利用による照明制御の導入

III 運用に関する事項

- ・専門のアドバイザーの指導のもと、エネルギー解析を行い、より効率的かつ実践的な設備運用を実施

事業所の概要

「グラントウキョウ ノースタワー」は、「グラントウキョウ サウスタワー」と並んで東京駅八重洲口の新しい「顔」として、2007年10月にI期部分が竣工いたしました。その後、2013年8月の「グランルーフ」竣工をもって「グラントウキョウ ノースタワー」は、全体竣工を迎えました。

低層部は、「大丸東京店」と「グランルーフ」等の商業エリア、17階～42階の高層部は、オフィスエリアとなっております。

事業所における環境負荷低減の取組

【省エネ取り組み項目】

- ・共用部エリア照明の減灯・減光設定
- ・専用部エリア照明の人感センサによる不在時の減光(一部消灯含む)設定
- ・共用部エリアの空調温度設定の最適化
- ・各熱源機器のチューニング(最適化)
- ・蒸気配管・バルブなどの保温強化

【環境配慮事項】

- ・日よけ効果のあるカーテンウォール縦リブの設置
- ・東西南面は外側をペアガラスとしたエアフローウィンドウ
日射負荷の少ない北面はペアガラスのみとして熱負荷を低減
- ・氷蓄熱による冷凍機の効率的利用
- ・百貨店部分の冷房排熱を回収し暖房利用
- ・インバーターポンプによる水搬送動力の低減
- ・インバーターファンによる空調搬動力の低減
- ・セキュリティシステムによる不在検知制御、明るさ感知による自動点滅制御、適正照度制御、タイムスケジュール制御、昼光利用照度制御、人感センサーを用いたゾーニング制御の組み合わせによる省エネ
- ・用途別計量、機器のデータ集計、BEMS 採用による主要機器の効率モニターとエネルギー消費傾向分析によるエネルギー管理

事業所外観写真



取組のイメージ図

